

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	岡谷市総合防災訓練事業
事業主体 (連絡先)	岡谷市 岡谷市幸町8番1号 TEL0266-23-4811
事業区分	4 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	601,464円 (うち支援金: 442,000円)

事業内容

平成18年7月豪雨災害から12年を迎えるにあたり、災害の記憶を風化させることなく、災害の経験から得た教訓と知識を後世に継承するとともに、市民の防災・減災意識のさらなる高揚を図るため、「自助」「互助」「共助」「公助」の考え方を基本とした、地域住民の縦横の連携、地域と地域をつなぐ事業の展開をした

また、豪雨災害の被災地域であった花岡区及び川岸地区における防災訓練は、市域全体が防災・減災を改めて考えるモデルとなった。

- ・土砂災害防災訓練 6月17日 花岡区 2,066名参加
- ・岡谷市防災の日事業 7月19日 パネル展他
- ・総合防災訓練 9月2日 岡谷西部中学校 2,236名
- ・防災とボランティアパーク 1月19日 パネル展他

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①防災訓練では、約4,300名の住民と関係機関89団体との連携により、改めて防災・減災に対する備えを確認する機会となった。
- ②企業、要配慮者利用施設が防災訓練に参加したことにより、地域の支え合いの考え方に膨らみが出た。今後のよ一層の地域の結束力、力強さに期待ができた。
- ③多くの防災関係機関に連携協力をいただき事業が進められた。顔の見える関係など相互の関わり合いの必要性が再確認できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・本年度実施した事業は、毎年の継続実施とする。
- ・災害パネル展など啓発事業は多くの住民の目に留まるように開催場所等の工夫をする。
- ・防災訓練は、企業及び要配慮者利用施設等を含めた地域の防災・減災への対応を進める。
- ・豪雨災害の経験から得た教訓と知職の継承に努めより一層の防災・減災意識啓発に取り組む。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【住民の協力による要配慮者の避難】

【目標・ねらい】

- ①住民の防災・減災意識の高揚による自助力の向上
- ②地域及び地域間における防災力・減災力の強化充実
- ③防災関係機関との連携の確認

※自己評価【 A 】

【理由】

様々な事業を通じ、地域の住民や企業、施設などの事業所、また防災関係機関が事業に携わり、相互の連携による防災・減災のあり方について考えられたこと。